

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第536号 令和3年11月・12月



『サボテンの花』 森本 晋

## 目 次

|                              | 頁          |                | 頁         |
|------------------------------|------------|----------------|-----------|
| 1) 保健所だより                    | 西多摩保健所 … 2 | 6) 連載企画        | 古川朋靖 … 12 |
| 2) 専門医に学ぶ                    | 江口正信 … 5   | 7) 学術講演会予定     | 学術部 … 13  |
| 3) 糖尿病医療連携検討会からの<br>今月のメッセージ | 野本正嗣 … 8   | 8) 理事会報告       | 広報部 … 14  |
| 4) 東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会       | 宮城真理 … 10  | 9) 会員通知・医師会の動き | 事務局 … 17  |
| 5) 広報だより                     | 近藤之暢 … 11  | 10) お知らせ       | 事務局 … 24  |
|                              |            | 11) 表紙のことば     | 森本 晋 … 25 |
|                              |            | 12) あとがき       | 菊池 孝 … 25 |

## 保健所だより

### 1. 西多摩圏域感染症発生動向

2021年第31週～第39週(8/2-10/3)の間に保健所で受理された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

#### (1) 全数報告疾患 届出件数

##### 〈二類感染症〉

- ・結核3件 肺結核 1件、肺門リンパ節結核 1件、潜在性結核感染症 1件。年齢は40代1件、60代1件、70代1件。

##### 〈三類感染症〉

- ・腸管出血性大腸菌感染症2件 患者1件、無症状病原体保有者1件、血清型・毒素型はO157・VT1VT2、年齢は80代、推定感染地は東京都、推定感染経路は不明。

##### 〈四類感染症〉

- ・レジオネラ症3件 肺炎型3件、年齢は50代2件、70代1件。推定感染地は東京都、推定感染経路は塵埃感染1件、水系感染1件、不明1件。

##### 〈五類感染症〉

- ・急性脳炎1件 年齢は80代。原因はヘルペスウイルス。

##### 〈新型コロナウイルス等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 2394件 (疑似症・取り下げ除く)

#### (2) 定点報告疾患 届出件数

| 定点種別    | 疾患名            | 第31週 | 第32週 | 第33週  | 第34週  | 第35週  | 第36週 | 第37週  | 第38週  | 第39週  |
|---------|----------------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
|         |                | 8/2～ | 8/9～ | 8/16～ | 8/23～ | 8/30～ | 9/6～ | 9/13～ | 9/20～ | 9/27～ |
| インフルエンザ | インフルエンザ(外来)    |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
| 小児科     | RSウイルス感染症      | 2    | 3    | 2     | 4     | 1     |      | 2     |       |       |
|         | 咽頭結膜熱          |      | 1    |       |       |       | 1    |       |       |       |
|         | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  | 1    | 2    | 2     | 1     |       |      | 2     | 3     | 4     |
|         | 感染性胃腸炎         | 11   | 6    | 10    | 14    | 15    | 15   | 18    | 16    | 12    |
|         | 水痘             |      | 1    |       |       |       | 3    | 1     |       | 1     |
|         | 手足口病           |      |      |       | 2     |       |      |       |       |       |
|         | 伝染性紅斑          |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | 突発性発しん         |      | 5    | 1     | 2     | 2     | 1    | 2     |       | 6     |
|         | ヘルパンギーナ        | 1    | 1    |       |       | 1     | 2    |       |       | 8     |
|         | 流行性耳下腺炎        |      |      | 1     |       |       |      |       |       |       |
|         | 不明発疹症          |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | 川崎病            |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
| 眼科      | 急性出血性結膜炎       |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | 流行性角結膜炎        |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
| 基幹病院    | 細菌性髄膜炎         |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | 無菌性髄膜炎         |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | マイコプラズマ肺炎      |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | クラミジア肺炎        |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | インフルエンザ入院      |      |      |       |       |       |      |       |       |       |
|         | 合計             | 15   | 19   | 16    | 23    | 19    | 22   | 25    | 19    | 31    |

### 2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 39週(9/27～10/3)時点

対象疾患の定点当たり報告数が例年並み以下になっています。

文責：西多摩保健所保健対策課

## 西多摩医療圏における新型コロナウイルス感染症に関する動向と今後の対策

令和3年9月22日、オンラインにて西多摩新型インフルエンザ等感染症地域医療体制ブロック協議会を開催し、新型コロナウイルス感染症の第5波の対応を振り返り、今後の対策を検討しました。医師会からは玉木会長と進藤副会長が、また感染症指定医療機関である青梅市立総合病院をはじめとする公立4病院などの各院長先生や歯科医師会、薬剤師会、さらに管内8市町村の健康主管課、消防署、東京都感染症対策部などから22名の委員が参加され、意見交換を行いました。

### 1. 新型コロナウイルス感染症に関する動向について

#### 1) 新規陽性者数

東京都の報道発表では管内のピークは8月19日の98人で、その後も8月下旬までは1日40人から70人の発生があり、8月19日からの1週間で400人以上となりました。

#### 2) 陽性者の療養状況

ピークの8月27日は、500名以上が療養中でした。通常、発症から最低10日間は感染可能期間と考えられ隔離療養が必要です。例えば毎日50名の陽性者が10日以上発生し続けると10日目には療養者が累計約500名となります。8月後半はいつピークアウトするのか分からない状態でした。

#### 3) 入院受入状況

区部だけでなく管内の入院病床も逼迫しました。そこで外来受診でトリアージして入院者を決め、第5波以前なら入院適応であった中等症I（肺炎像あり、酸素投与なし）の患者でも自宅療養とならざるを得ない状況でした。

#### 4) 自宅療養者へのオンライン診療および往診事業

医師会の先生方や近隣の薬局のご協力もあり、オンライン診療を実施し、必要な方には解熱剤や咳止めなどの処方薬を自宅に配達していただくことができました。休日夜間はファストドクターにオンライン診療を依頼しましたが、患者数がピークの時は断られることもありましたので、日中の地域での診療が本当にありがたかったです。往診も実施していただきましたが、通常診療とワクチン接種でお忙しかった先生方にとってはかなりのご負担になったことと思います。

#### 5) 保健所で実施した施設調査

感染可能期間に高齢者施設、障害者施設、児童福祉施設、学校、医療機関等を利用した場合、全て電話による聞き取り調査を実施し、必要時は訪問調査も行いました。第3波の1月は高齢者施設や医療機関が多く、第5波の8月は高齢者施設や保育園を中心とした児童施設にピークが見られました。

### 2. 第5波における課題

#### 1) 発生届

HER-SYS（ハーシス）※1による電子入力が進み、記載事項の把握が容易になりました。一方で、電話番号の未記入や誤記入もあり、医療機関への確認に時間を要する事例もありました。

#### 2) 疫学調査と療養先決定の遅れ

新規陽性者へ当日中に連絡が取れない事例もありましたが、概ね24時間以内に療養先を決定することができました。

#### 3) 入院病床の逼迫

ピーク時は圏域内の病床が全て満床になり、管外の病院に救急搬送する事例もありました。ま

(4)

た、夜間や未明にサチュレーション 90%前半となった場合でも受入病院が見つからず、救急搬送できない事例もありました。

#### 4) 自宅療養者の増加と保健所による健康観察者の増加

病院や宿泊施設が逼迫し、入院・入所調整が不調となった方も含め、多くの患者が自宅療養を余儀なくされました。また保健所では健康観察の電話連絡を毎日実施することができなくなり、病状に応じて連絡対象者を絞らざるを得なくなりました。そのような中、医療機関で診断時にパルスオキシメーター貸与を開始していただき、重症化の早期把握に役立ちました。

#### 5) 施設発生時の対応

陽性者が発生してから保健所に対応の問い合わせがあり、濃厚接触者の特定や検査までに時間がかかる施設もありました。

### 3. 第6波にむけた対策

#### 1) 発生届

先生方には HER-SYS 入力 の 促進 と、正確な情報の記載をお願い致します。

#### 2) 情報共有

圏域の入院受入医療機関でのベッドコントロールなど緊密な連携を行うため、実務者レベルで定期的な会議を開催します。自宅療養支援に伴う個人情報 を東京都から市町村に提供します。

#### 3) 健康観察の体制強化

MY-HERSYS を導入し、患者の健康状態を迅速に把握します。診断医療機関での健康観察の方法を検討していきます。

#### 4) 抗体カクテル療法の推進

コールセンターも併用しながら、圏域内でも抗体カクテル療法を推進します。

#### 5) 施設の自主管理の体制強化

平常時からの感染防止対策を徹底し、職員・利用者のスクリーニング検査、検査医療機関の事前準備など自主管理体制の強化を進めます。

上記以外にも先生方からは、「医療機関同士、お互いの状況がみえなかったが、西多摩住民の入院を優先したい」「外国人の対応で苦慮した」「後遺症外来の充実を」など患者の療養について様々なご意見をいただきました。

第5波で様々な制限のある中、医師会の先生方にはワクチン接種を進めていただき、さらに検査や診断にもご尽力いただき、感謝申し上げます。第6波に向けて、引き続きご協力をお願い申し上げます。

#### ※1 HER-SYS (ハーシス) Health Center Real-time Information-sharing System on COVID-19

厚生労働省が開発した新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システムで、医療機関においては、発生届の入力・報告を電子的に行うことができるとともに、自宅療養中の方などにとっても、毎日の健康状態をスマホ等で簡単に報告をすることができます。患者情報は、管轄している保健所でも共有されるため、それぞれの方の状態を迅速に把握し、適切なフォローが可能になります。

# 専門医に学ぶ 第151回

公立福生病院 病理診断科 江口正信

17歳、女性。

3ヶ月前より下痢と腹痛を訴え体重減少も認められた。今回、粘血便と発熱を来し来院。

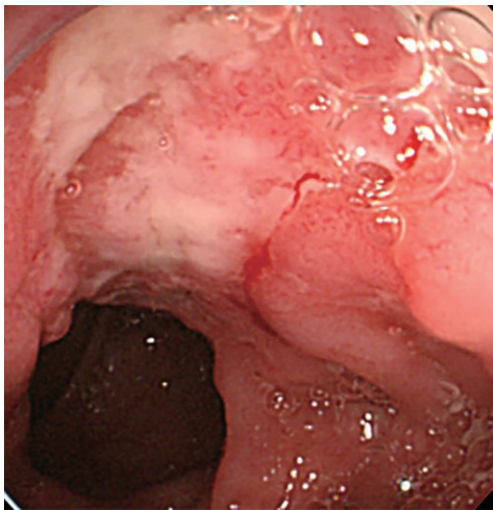
大腸内視鏡検査と病理組織検査が施行された。

来院時の血液、生化学検査では、WBC  $8800/\mu\text{L}$  , RBC  $4.43 \times 10^6/\mu\text{L}$  , Hb 9.3g/dL , CRP 10.0mg/dLを示した。

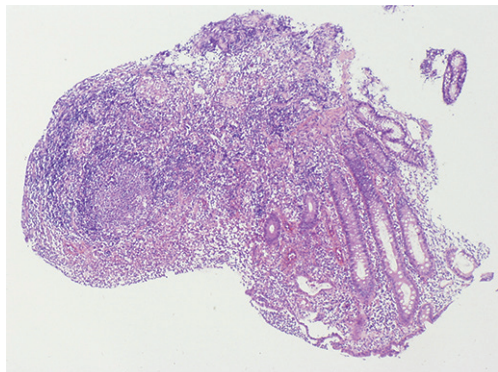
大腸内視鏡像 (図1)、大腸生検組織像 (HE染色) (図2) (図3)を示す。

最も考えられる診断は何か？

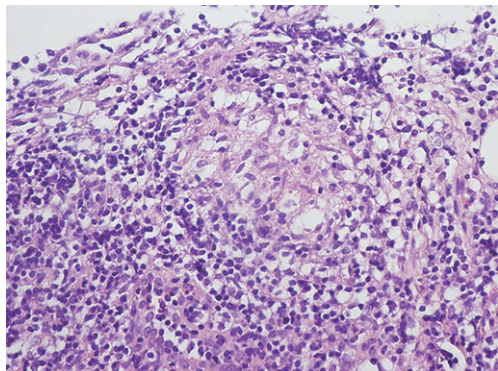
(図1)



(図2)



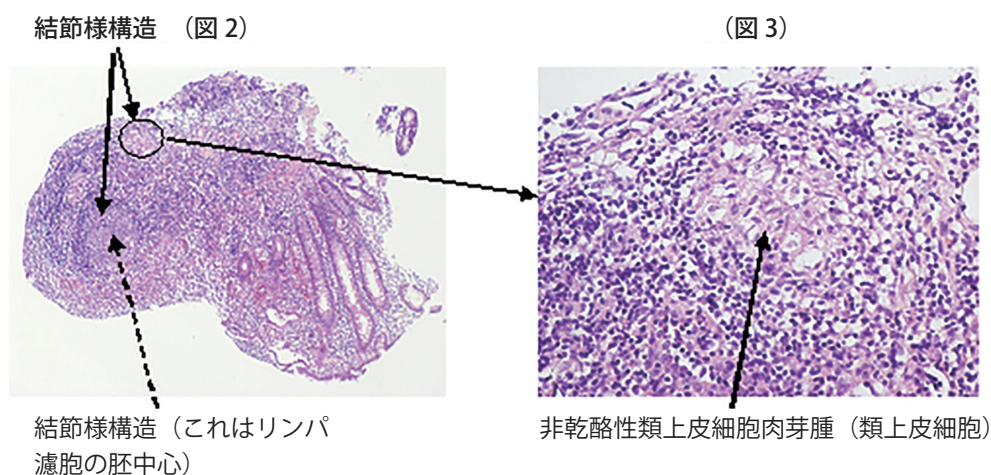
(図3)



## 診断：クローン病（Crohn's disease）

### 〈画像所見〉

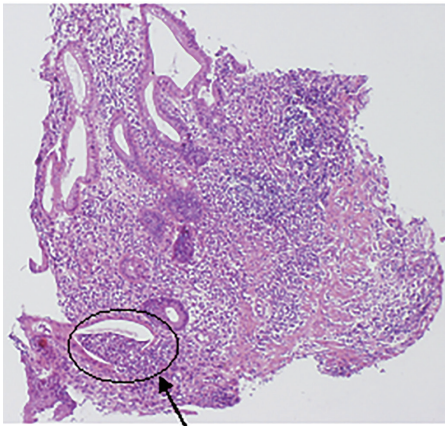
大腸内視鏡像（図1）では縦走潰瘍を伴った炎症所見を認めます。大腸生検組織像の弱拡大像（図2）では、粘膜固有層から一部粘膜筋板より下層である粘膜下層に及ぶ炎症細胞浸潤を認めます。またびまん性炎症細胞浸潤に混じって、弱拡大でやや明るく見える、結節様病変があり、この一つはリンパ濾胞の胚中心に相当する構造（破線矢印）ですが、他により小さな結節様構造（実線矢印）がみられます。また陰窩膿瘍（crypt abscess）は認めず、腺の屈曲や蛇行、および杯細胞の減少なども目立ちません。さらに弱拡大像（図2）で確認された比較的小さな結節様病変の強拡大像（図3）では、類上皮細胞の集簇を伴い、また乾酪壊死を含まない肉芽腫（非乾酪性類上皮細胞肉芽腫）をみます。



### 〈鑑別診断〉

まずクローン病と並んで炎症性腸疾患（IBD（inflammatory bowel diseases））に含まれる潰瘍性大腸炎との鑑別が重要となります。まず潰瘍性大腸炎では、典型的な病変の分布としては直腸より口側へ連続性に進展し、時に全大腸に病変が及ぶことが知られています。一方クローン病では、典型例としては回腸末端に病変が形成され（終末回腸炎（terminal ileitis）あるいは限局性腸炎（regional enteritis））と呼ばれる分布を示しますが、大腸や、小腸および大腸の両者に病変が形成されることもあります。内視鏡所見としては、潰瘍性大腸炎においては①粗造あるいは細顆粒状を呈する易出血性粘膜、②多発性びらんや潰瘍形成、あるいは偽ポリポースなどが認められますが、クローン病では①縦走潰瘍、②敷石像、あるいは③非連続性病変（skip lesion）などが特徴とされています。好発年齢については、潰瘍性大腸炎では30歳以下の成人に多く、これはクローン病の好発年齢（10歳代後半から20歳代）に類似しますが、潰瘍性大腸炎では小児や50歳以上にもみられ、前者と併せ2峰性の好発年齢を示しています。

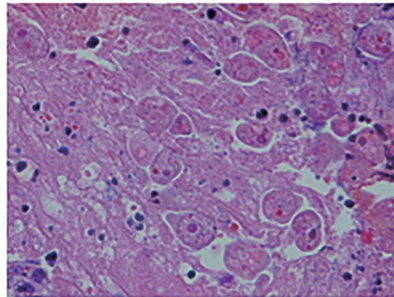
その他、類上皮細胞肉芽腫を形成する疾患としては腸結核との鑑別が必要となりますが、腸結核の肉芽腫はクローン病の肉芽腫と比べ大きく、癒合傾向を示し、また乾酪壊死を伴う、などの相違点があります。他にサルコイドーシス、エルシニア腸炎などでも類上皮細胞肉芽腫が認められます。クローン病との鑑別を要するその他の疾患を列举すると、感染性腸炎、薬剤性腸炎、アメーバ赤痢、閉塞性大腸炎、虚血性大腸炎（縦走潰瘍を形成することがあります）などがあります。



潰瘍性大腸炎：陰窩膿瘍、腺管の乱れ、粘液細胞減少を認める。



アメーバ赤痢：内視鏡像



赤痢アメーバの栄養体（生検組織 HE 染色）

### 〈疾患解説〉

クローン病は1932年にCrohnらによる”terminal ileitis（終末回腸炎）“としての報告（後に”regional enteritis（限局性腸炎）と改称した）によって疾患概念が確立された炎症性腸疾患の一つであり、原因は特定できていませんが、遺伝的な素因に加え免疫異常や食餌などの環境的な因子が合わさって発症すると推定されています。前述したように10歳代後半から20歳代に好発し、典型例では回腸末端に病変が形成されますが、その他大腸・小腸以外の全消化管にも非連続的に病変が形成されることがあります。

クローン病の症状としては、腹痛や下痢が多く、その他肛門病変（痔瘻や裂肛）および体重減少なども認められます。合併症として関節炎や硬化性胆管炎がみられ、皮膚病変としては結節性紅斑なども認められます。

### 〈診断〉

診断に関しては、鑑別診断の項でも述べましたが、内視鏡所見と生検組織所見（時に切除標本からの組織診断）が重要です。内視鏡所見としては、①縦走潰瘍、②敷石像、③腸管の狭小・狭窄、④非連続性病変（skip lesion）、⑤多発アフタなどが挙げられ、組織所見としては、非乾酪性類上皮細胞肉芽腫の出現が特徴的であり、また生検組織では判定が難しいが、切除標本からは●全層性炎症、●裂溝、●潰瘍形成などが認められます。内視鏡検査以外の検査や活動性の評価では、血清中のロイシンリッチα2グリコプロテイン（LRG）などがあります。

### 〈治療〉

栄養療法（食餌療法）と薬物治療の併用が必要です。栄養療法（食餌療法）としては、●急性期では完全静脈栄養あるいは成分栄養（ED）、●寛解維持期では在宅経腸栄養あるいは成分栄養＋治療食（低脂肪、低残渣食、タンパク質は魚類・植物性を選択）などが必要であり、薬物治療に関しては、●サルチル酸製剤（5-ASA）、●抗TNF-αモノクローナル抗体であるインフリキシマブ、●免疫抑制剤、●ステロイド、●血球成分除去療法などが行われています。

## 糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

### 西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科部長 足立淳一郎 先生に症例提示をお願いいたしました。皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

【症例】 54歳女性、145cm、66kg、BMI 31.4kg/m<sup>2</sup>

【現病歴】 15年前に2型糖尿病を指摘され、インスリン治療を行っている。合併症：単純性網膜症、腎症1期、神経障害なし。

インスリンデグルデグ（トレシーバ®）眠前8単位、メトホルミン2000mg、イプラグリフロジン（スーグラ®）50mg、デュラグルチド（トルリシティ®）週1回投与でHbA1cは8%前半で推移していた。2021年3月の眼科受診では、単純性網膜症を認めたが、網膜症は安定していた。5月よりデュラグルチドからセマグルチド（オゼンピック®）週1回に変更した。セマグルチドを漸増し、HbA1c・体重は減少した（図1）。

2021年9月の眼科定期健診で糖尿病性網膜症の悪化と黄斑浮腫の出現を認めた（図2）。

本人は眼科受診時まで視力低下に気付かなかった。糖尿病網膜症は光凝固療法し、黄斑浮腫に対してステロイドテノン嚢下注射で経過観察している。

#### 【ポイント】

- ・インスリン投与中の患者では、血糖が急激に改善すると網膜症が悪化することがある。
- ・糖尿病患者では定期的な眼科への通院が必要である。

【まとめ】 インスリン治療による急激な血糖コントロール改善は、一過性に網膜症が悪化することが知られている<sup>1)</sup>。最近上市されたセマグルチドは週1回投与のGLP-1受容体作動薬で、HbA1c低下・体重減少作用が報告されている<sup>2)</sup>。一方、網膜症をもつインスリン投与中の患者では、セマグルチド投与による網膜症の悪化も報告されている<sup>3)</sup>。インスリン投与中の患者にセマグルチドを投与する際には、定期的な眼科受診状況を確認する必要がある。

#### 参考文献

- 1) Arch Ophthalmol, 116 (7) : 874-886, 1998.
- 2) Marso SP et al.: N Engl J Med, 375 (19) : 1834-1844, 2016.
- 3) Vilsbøll T et al.: Diabetes Obes Metab, 20 (4) : 889-897, 2018.



図 1.

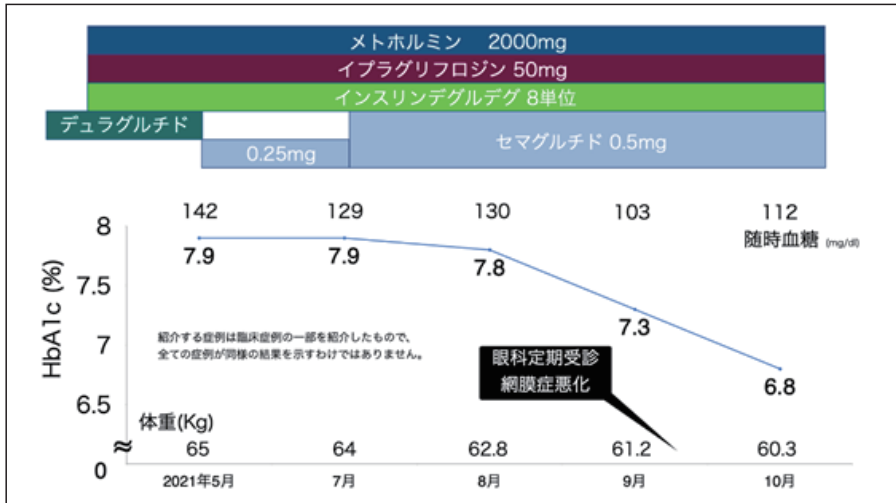
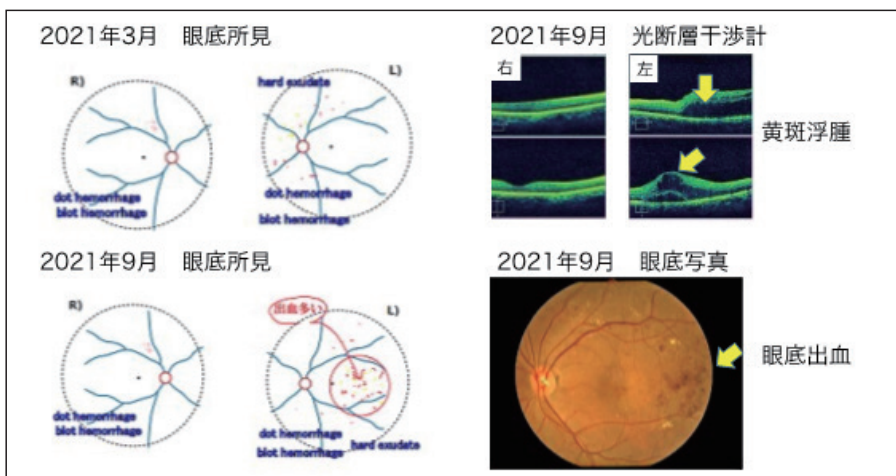


図 2.



## 医師会館休館のお知らせ

年末・年始 事務局は下記の通り休館いたします。

記

**12月29日(水) ~ 1月4日(火)まで**

(通常業務は28日(火)正午までとさせていただきます。なお1月5日(水)より平常通りとなります。)

## (日本医師会認定) 東京都医師会・西多摩医師会 産業医研修会



令和3年9月12日(日)に日本医師会認定の東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会がネットたまぐーセンター(青梅市文化交流センター)で開催されました。(参加者127名)

今年は東京オリンピック・パラリンピック開催の都合に合わせて9月に日程を取りました。

全国的に新型コロナウイルス感染が拡大している最中、受講者及び講師の先生方はワクチン接種が既に済んでいますので、感染予防対策を確実にこなせるという条件のもと、参加人数を決定し、会場設営を行いませんでした。昨年の教訓を生かして、受講者は会場を移動しないで、全ての講義を1箇所(最初に席についた部屋)で受講できるようにしました。

午前中はWi-Fiを活用し、後半の実施研修は昨年同様に講師の先生方に移動をお願いしました。午前9時55分に玉木会長の挨拶で始まり、午前10時から午後4時10分まで、午後0時から1時間の休憩をはさみ5講義が組み込まれました。基礎研修の受講者には、後期研修2単位と実施研修3単位が与えられます。更新研修の受講者には、更新研修1単位、専門研修1単位、実地研修3単位が与えられます。緊急事態宣言中でもあり、感染者数がピーク時よりは減少していた時期でしたが、遠方からの参加者は無く、殆んど受講者は近隣からの参加でした。

1時限目：“高齢労働者の健康管理” 労働衛生コンサルタント事務所オクス所長 竹田透先生の講義は、高齢者雇用安定法の再改正が令和3年4月1日施行され、70歳までの就業機会確保により、高齢就業者の年次増加の説明をされた。増加した高齢労働者の健康課題を治療と仕事の両立支援の必然性を事例を示され、ていねいに説明された。

2時限目：“テレワーク下での産業医の役割” 一針指・情報通信機器を用いた産業医の職務一部実施に関する留意事項等について 1時限目と同じ講師の竹田透先生により産業医活動の実践と法的側面を説明されました。

3時限からは、3グループ部屋毎に実地研修が行われました。

3時限目：“産業医として身につけるべきスマホゲーム依存の基礎と対策” 予防医療研究所代表/藤田医科大学客員教授 磯村毅先生の講義はESS(電子スクリーン症候群)≒スマホ脳のメカニズムを説明され、事例を示され対応等を説明されました。

4時限目：“ストレスチェック後の高ストレス者面接指導” 産業医科大学ストレス関連疾患予防センター特令講師 戸津崎貴文先生の講義は面接指導対象者の申し出から面接指導までの流れ及び事例検討(2例)の考え方などの説明をされました。

5時限目：“職場の感染症対策” 事例検討-アッシュコンサルティングサービス合同会社 鈴木英孝先生の講義は、新型コロナウイルス感染症対策及び自宅療養期間、濃厚接触者の自宅待機期間について説明されました。

終了後、会場前でシールを配布し、無事に1日が終わりました。

文責 宮城 真理

## 広報だより



## COVID-19・雑感

近藤 之暢

いまや何をするにしても第一に COVID-19 を考慮せずには事が進められない状態です。仕事も遊びも残念ながら大きな制限を受けています。

COVID-19 について私が経験したことや感じたことを雑感としていくつかあげてみました。

まず多くの人が口にしている「コロナ」という言葉は今後大きな誤解を招いてしまうと思っています。TV の司会者なども「コロナ」と言ったり街頭インタビューでの発言も「コロナ」と言っているように思われます。医師である私たちは「コロナウイルス」は従来から広く蔓延している風邪症候群を生じるものもコロナウイルス（主に 4 種類）であり、さらに 2000 年以降 SARS-CoV（2002 年）・MERS-CoV（2012 年）の 2 種類もあるとされています。

これに今回の「新型コロナウイルス」（2019 年、2020 年 2 月 11 日 WHO により COVID-19 と名前が決定）があります。

今後このまま COVID-19 を単純に「コロナ」と言い続けると風邪症候群で来院した患者様に対して「原因はおそらくコロナウイルスでしょう」等と説明できなくなってしまう。患者はふらつくことを「貧血」、虫垂炎の手術を「盲腸で手術しています」等と誤解した表現を使っていますが医者側も言葉が間違っていることを修正するのがめんどくさいためそのままやりとりを終わりにしてしまっています。COVID-19 は重症化する疾病で周囲にも大きな被害を生じさせてしまうのできちとした名称で表現しておくことが重要だと思っています。（海外メディアは COVID-19 と表現しています）

ささやかな抵抗ですが患者が「コロナ」と言ったときはこちらからの発言は「新型コロナ」と表現して説明しています。

COVID-19 の感染については全世界で約 2 億 4104 万人の感染・約 490 万人の死者が報告されています。最も多いアメリカでは約 4505 万人の感染・約 70 万人の死者がおり第二次世界大戦時の約 20 万人を大きく上回っています。

日本でも 10 月 21 日現在 1715994 人の感染者・18174 人の死者が出ています。特に第 5 波といわれるこの夏のピークは当院でもそれなりの患者が確認されています。小さな診療所でも 1 日 3 人の感染者が確認されることがありました。すべてインド株でした。この中で今後も心配な状態になっている人も数人います。また当院受診までに 7 日間も咳・発熱・呼吸苦しさを我慢していた高齢者もいました。発熱しているので市販の感冒薬を内服し 2 日間仕事に行っていたという方もいました。内心は COVID-19 であろうと思っていたようですができれば診断されたくない（保健所の管理下に置かれ仕事にも行けなくなったり外出制限を受けるのはいやだったようです。診断されたときに日給が出て仕事として自宅にいたのであれば納得するようなニュアンスでした。入院すれば医療費は無料で周辺に迷惑もかからないようになるので軽症で自宅療養するのがいやだったのかもしれませんが）

また西多摩保健所管内ではありませんが、HER-SYS で感染を届出していたのですが翌日になっ

でも保健所からの連絡がなく心配になり家族から連絡がありました。当方の HER-SYS 入力の間違っていただけかと思ひ、なんとか当該保健所に電話連絡を取り、聞いたところ「2～3日のうちには本人と連絡をとります」との返答にあきれてしまいました。この患者には当方で電話し状態確認などを行いました。

9月中旬頃より当院では COVID-19 感染を疑わせる患者は減少し、最近では数日に1人程度の PCR 検査ですんでいて陽性者はいません。

ワクチン接種も進んでいますが若年者の接種になってから予約をキャンセルする人が多くなっています。優先順位の判断が少しおかしいと思われるケースもあり心配です。

いずれにしても一刻も早く終息してくれることを願うばかりです。

## 連載企画



### 「読書歴について 4.」

永仁醫院 古川 朋靖

連載企画では、私の読んだ本について雑感を書かせていただいております。昨年来のコロナ禍にて、耳鼻咽喉科の外来は壊滅的でした。現在も回復したとは言えない状況です。そんな中で、持て余す時間でこれまでに読みたいと思っけていても手の出せなかった本を読みました。

一つは、ユヴァル・ノア・ハラリの「サピエンス全史」（河出書房新社上下巻）です。とても巷の評価が高く、読んでみたいと思っけておりましたが、単行本のうえ上下巻という分量から敬遠をしていました。今回、時間が十分にとれたこともあって、読んでみました。率直に言っけて、面白かったです。面白みを感じた最大の要因は、マクロ歴史学という視点が斬新だったのがあります。個々の事象を論ずるよりも全体を俯瞰して、歴史の流れを解釈することに重点をおいた視点。これまでに、経験をしたことがない切り口でした。人類の誕生から現在までを、政治、経済、宗教、生物学的、様々な視点から紐解いていきます。「認知革命」によって自然界食物連鎖の頂点に立ち、「農業革命」により繁栄をし、同時に想像上の秩序と書記体系を持つて協力ネットワークを築き、人類の統一へ向かう、そして「科学革命」によって特異点に近づく。「人間は何を望みたいのか？」という命題にたどり着く。若い頃にこのような発想があつたなら、物の見方も大きく変わったものと思っけていました。故に、若い方にこそ、お薦めしたい。そして、経験豊富な方には、頭を柔らかく保つて意味でも、読んでいただきたい。世界の見え方が、多少なりとも変わつてくると思っけています。

二つ目は、同じ著者の続編で「ホモ・デウス」（河出書房新社上下巻）です。「サピエンス全史」では、人類の歴史をマクロ的に俯瞰してきました。今作では、これからの人類がこれからのどのような道を進むのかというお話です。ホモ・サピエンスは人類です。それに対して、ホモ・デウスのデウスとは神の意味です。人類は飢饉・疫病・戦争を克服しつつある中で、著者は、これから人類は不死・幸福・神性を獲得しようとするだろうとしています。生物工学、情報工学により人類をアップグレードし、自らを創造しなすのではないかと。そしてその先に人類はどこ

へ行こうとしているのか、どんな世界を考えるのか、そんな未来を現実に基づいて考察しています。

私自身、新鮮な切り口から、インスピレーションを得た気分になりました。(そんな大それたものではないのですが、ニュースの見方を変えてみてもいいのではないかと) いう程度) しながら、違和感を覚える部分もありました。具体的になに? とは言えないのですが、西洋的な考え方と東洋的な物の見方というか、なんか抽象的な部分です。逆に言えば、西洋的な客観的な見方ができていないからなのかもしれませんが、時間を空けてもう一度読んでみないことには、気づけないかもしれません。そうは言っても、感銘を受けた部分は多く、多くのインスピレーションももらいました。久しぶりに新鮮な気持ちにもなれました。両書とも、若い人にも経験豊富な方にも、ぜひ一読いただきたいと思いました。そこで抱く感想というものを客観的に整理すると、物の見方も変わるかもしれません。

### ◇学術講演会予定

令和 3. 10.22

| 開催日          | 開始～終了時間             | 会場                       | 単位数 | カリキュラムコード | 集会名称・演題   | 講師(役職・氏名)   |
|--------------|---------------------|--------------------------|-----|-----------|---|---|
| 11.11<br>(木) | 19:00<br>～<br>20:05 | 【Web 講演】                 | 1   | 22        | 学術講演会<br>「高齢者の全身を診る<br>- フレイルと低亜鉛血症 -」  | 順天堂東京江東高齢者<br>医療センター<br>消化器内科 科長・先任准教授<br>浅岡 大介 先生                  |
| 11.16<br>(火) | 19:00<br>～<br>20:00 | 【Web 講演】                 | 1   | 35        | 西多摩てんかん診療連携<br>Web セミナー<br>【講演】<br>「高齢者てんかん」<br>【特別講演】<br>「小児のけいれん・ひきつけ」  | 青梅市立総合病院<br>精神科 部長 岡崎 光俊 先生<br>日本橋神経クリニック<br>院長 久保田 英幹 先生           |
| 11.17<br>(水) | 19:30<br>～<br>20:30 | 【Web 講演】                 | 1   | 11        | 第 19 回西多摩高血圧カンファレンス<br>■オープニングリマックス<br>「死体検案から見た血圧管理の重要性」<br>■特別講演<br>「(仮) 高血圧治療ガイドライン 2019<br>に基づいた治療戦略～Clinical inertia<br>の克服」 | 野本医院<br>院長 野本 正嗣 先生<br>東京女子医科大学<br>高血圧・内分泌内科<br>教授・基幹分野長 市原 淳弘 先生   |
| 11.19<br>(金) | 19:00<br>～<br>20:00 | 【Web 講演】                 | 1   | 24        | 地域で心不全治療を考える会<br>「心不全診療の変遷と New Normal」   | 潮友会うしお病院 循環器内科<br>部長 加藤 真帆人 先生                                      |
| 11.24<br>(水) | 19:30<br>～<br>20:30 | 【Web 講演】                 | 1   | 32        | 高齢者心房細動を考える会<br>「超高齢・高血圧リスク心房細動に<br>対する薬物療法～ ELDERCARE-AF 試<br>験～」  | 青梅市立総合病院 循環器内科<br>部長 小野 裕一 先生                                       |
| 11.25<br>(木) | 20:00<br>～<br>20:20 | ZOOM 配信<br>又は西多摩<br>医師会館 |     |           | 青梅CKD勉強会(青梅市医師会)<br>①「青梅市における糖尿病重症化予<br>防への取組」<br>②「CKDの治療の新たな展開<br>～尿管管再吸収の見直しという視<br>点から～」                                      | 青梅市健康福祉部健康課<br>特定健診係 係長 塩野 千春 先生<br>公立阿伎留医療センター<br>腎臓内科 部長 梅津 道夫 先生 |
| 12.8<br>(水)  | 19:30<br>～<br>20:30 | ZOOM 配信<br>又は公立<br>福生病院  | 1   | 45        | 第 36 回西多摩心臓病研究会<br>【特別講演】<br>「循環器医からみた呼吸器疾患<br>～睡眠時無呼吸症候群と糖尿病を中<br>心に～」(仮)  | 順天堂大学大学院医学研究科<br>循環器内科学・<br>心血管睡眠呼吸医学講座<br>准教授 葛西 隆敏 先生             |

**理事会報告**

★ Information

**9月定例理事会****令和3年9月14日(火)****西多摩医師会館**

(出席者: 玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・吉田・中野・野本)

**【1】報告事項****(1) 各部報告**

公衆衛生部(産業医担当): 9/12に開催した産業医研修会の状況等について

総務部(社会保険担当): 10/13(13時から14時青梅市会議室)における国保主務担当者との懇談会(予定)について

学術部: 8/27部会開催 市民講座は中止とし、パネルディスカッション及び症例検討会については12月ころ再検討を決定

**(2) 地区会報告(各地区理事):**

青梅市 PCR検査・陽性者の状況等について

福生市 8/31、2市1町PCRセンターに係る会議開催

9/7 理事会開催

PCR検査・陽性者の状況等について

羽村市 9/17 理事会開催予定

あきる野市 9/10 理事会、9/13 例会開催

瑞穂町 9/21 定例会開催予定

日の出町 日の出町集団接種の状況について(医師会関係者は320件程度)

10月中旬をもってワクチンの接種終了見込み

奥多摩町 10/9をもってワクチンの接種終了見込み

**(3) その他報告:**

特になし

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員1名、準会員1名の入会申請が紹介・報告され承認された。また、正会員1名、準会員1名の退会及び異動届1件が紹介報告された — 承認 —

**【3】協議事項****(1) 令和3年度西多摩地域歯科保健推進検討会委員就任の承認について(依頼)**

資料により標記依頼事項が説明・紹介され、玉木会長の委員就任が可決承認された

— 可決承認 —

**(2) 【地域における自宅療養者等に対する医療支援強化事業】**

自宅療養者等に対するオンライン診療システムを活用した遠隔診療の実施について(依頼)資料により標記依頼事項についての説明及び本日の都医の会議で対応方法等が変更となった内容等について説明、変更後の内容にて再度アンケートをして対応を検討することとした

**(3) 「第5波対応の状況と今後」**

資料に沿い、第5波感染拡大に対する対応・体制等の状況について確認

**【4】その他**

特になし

**9月定例理事会****令和3年9月28日(火)****西多摩医師会館**

(出席者: 玉木・江本・進藤(幸)・土田・古川・進藤(晃)・田中・井上・鈴木・吉田・中野・野本)

**【1】報告事項****(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料に沿い、9/17に開催された標記協議会の伝達事項等報告

**(2) 各部報告**

該当なし

**(3) 地区会報告(各地区理事):**

青梅市

福生市

羽村市 9/17 理事会開催

あきる野市

瑞穂町 町民のワクチン接種状況等について

日の出町

奥多摩町 10/9日にワクチンの集団接種終了予定

**(4) その他報告:**

○ 遠隔自宅療養支援と酸素ステーションの出務状況について  
(協議事項4の中で報告)

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員1名、準会員3名の入会申請が紹介・報告され承認された。また、準会員3名の退会が紹介報告された

— 承認 —

**【3】協議事項****(1) 「インフルエンザ個別予防接種業務委託契約書」の締結について**

資料により、管内8市町村との標記契約内容につき説明、締結について承認が求められ可決承認された  
— 可決承認 —

**(2) 西多摩医師会「法人クレジットカード」の取得について**

標記クレジットカードの必要性等が説明され、当会法人クレジットカードの取得について承認が求められ可決承認された  
— 可決承認 —

**(3) 臨時職員の採用・募集について**

標記に係る必要性等が説明・報告され、採用・募集について承認が求められ可決承認された。また、採用・募集の手順・方法等については総務・経理と事務局で相談検討の上進めることが了承された  
— 可決承認 —

**(4) 多摩地区遠隔自宅療養支援と酸素ステーションについて**

資料により、標記に係る対応等の現状・状況について説明、担当副会長より支援の実態、酸素ステーションへの出務内容・状況等が説明・報告され、酸素ステーションの実態はカクテル療法実施施設であることも紹介された

**【4】その他**

特になし

**10月定例理事会**

令和3年10月12日(火)

西多摩医師会館

(出席者:玉木・江本・進藤(幸)・土田・宮城・古川・進藤(晃)・田中・井上・下村・鈴木・吉田・中野・野本)

**【1】報告事項****(1) 各部報告**

公衆衛生部(産業医担当):9/12に開催した「産業医研修会」の収支について

総務部(社会保険担当):10/13開催予定の「市町村国保主務担当者との懇談会」における主な内容等及び出席予定者について

**(2) 地区会報告(各地区理事):**

青梅市 10/7 理事会開催

福生市 10/5 理事会開催

10/19 2市1町のPCRセンターに係る会議予定

羽村市 10/8 健康課との会議開催

あきる野市

瑞穂町

日の出町

奥多摩町 10/9 集団接種終了



**(3) その他報告：**

- 中和抗体薬治療促進事業の実施について  
資料により、標記事業の内容等について説明・報告
- 管内陽性者の療養状況  
資料により、標記の状況等について説明・報告

**【2】報告承認事項****(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、準会員1名の入会申請が紹介され承認された。その他2件の異動届が紹介・報告された

— 承認 —

**【3】協議事項**

特になし

**【4】その他**

特になし

## 会 員 通 知

- 会報9-10月号
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 学術講演会（10/7、10/21、10/22、10/27）
- にしたまネット講習会（10/26）
- 肺炎球菌ワクチン出荷調整の解除について
- 健康食品の安全性・有効性情報の活用に関する実態調査について
- V-Sys操作マニュアル第4.2版
- 酸素ステーション医師派遣概要
- 新型コロナウイルスワクチンの時間外・休日の接種及び個別接種促進のための支援事業の請求について
- 自宅療養者の対応に係るパルスオキシメーターの貸与について
- コロナ短信No.23西多摩保健所発の地域情報
- コロナ短信No.24西多摩保健所からの緊急依頼「新型コロナウイルス感染症地域流行に伴う対応について」
- コロナ短信No.25「東京都開設酸素ステーション[調布市 味の素スタジアム]への以下出務要請」
- 新型コロナウイルス感染症の新規感染者の急増に伴う対応について
- 都立小児総合センター医療連携だより、小児在宅医療サポート勉強会（9/9,10/14）
- やっぱり看護が好き
- 「2022年版医師日記」（手帳）の斡旋について
- 結核予防週間ポスター
- 特別区・市町村の国民健康保険 保険証が更新されます
- 令和4年用「駐車禁止等除外標章」の新規申請について
- COVID-19患者対応フロー（かかりつけ医における考え方）について
- 医療安全情報NO,177
- 「東京都新宿東口検査・相談室におけるHIV 検査結果（陽性）の告知漏れ」及び該当する可能性のある方への情報提供
- パラリンピック競技大会における学校連携観戦に伴うPCR検査について
- 「地域における自宅療養者等に対する医療支援強化事業」の取扱の変更について
- ワクチン接種の廃棄物の処理に関するチラ

- シの周知について
- 新型コロナウイルス感染症の検査件数等の報告について（周知依頼）
  - 「東京都開設酸素ステーション（渋谷区神宮前 都民の城）への出務の件」
  - 新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療関係者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について
  - 診療・検査医療機関等での抗原簡易キット等を活用した迅速な検査について
  - 「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver.3.0」について
  - 「定期的予防接種等による副反応疑いの報告等の取扱いについて」の一部改正について
  - 青梅市立総合病院より「入院が想定される患者のご紹介について（お願い）」
  - 自宅療養者支援事業・夜間対応についてのアンケート調査
  - 妊娠中の者への新型コロナワクチンの接種及び新型コロナウイルス感染症対策の啓発について
  - 「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」に基づく各種報告について（情報提供）
  - 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その55）
  - 「枝番」の記録に係る保険医療機関への周知について
  - 「東京都保健医療計画 中間見直し（令和3年7月）」及び「東京都循環器病対策推進計画（令和3年7月）」の送付について
  - 都立学校並びに区市町村立学校におけるPCR検査の実施について
  - 「保健所業務逼迫に対応する濃厚接触者PCR検査ご支援への御礼」
  - 東京都開設酸素ステーションへの出務御礼
  - 要介護認定における「認定調査票記入の手引き」、「主治医意見書記入の手引き」及び「特定疾病にかかる診断基準」について（周知依頼）
  - 患者の疾病又は負傷が第三者行為によって生じたと認められる場合における診療報酬明細書等の記載等について
  - 労災レセプト電算処理システムの利用促進に係る協力依頼について
  - 公益財団法人日本学校保健会が実施するYouTubeセミナーについて
  - 「新型コロナウイルス感染症で自宅療養中等の患者に対する治療に係る診療報酬請求等の要点について」に関する確認事項等について
  - 第13クールで配布するシリンジ・注射針及び27G 16mmの一体型シリンジの穿刺方法に係る資料の送付について
  - 令和3年度都立学校定期健康診断における産業医の活用について
  - 新型コロナウイルス感染症患者に関する妊娠の有無の届出の徹底等について
  - コロナワクチン接種後に新型コロナウイルス感染症と診断された症例に関する国立感染症研究所による医療機関に対する積極的疫学調査への協力依頼について
  - 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その56）（その57）（その58）
  - 新型コロナウイルス感染症に係る広域移送・搬送の実施方法について
  - 「令和3年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金」の交付申請書の提出期限の延長等について
  - 「健康保険法施行令等の一部を改正する政令等の施行について」並びに「出産育児一時金等の支給申請及び支払方法について」の一部改正について
  - 「空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”」からのビニール手袋無償提供について（再周知）
  - 令和3年度東京都オンライン医療相談・診療等環境整備補助事業の追加募集の実施について
  - 支払基金オンライン請求システムの受付処理の遅延に係る対応について
  - オンライン請求医療機関に対する紙媒体に

よる返戻の廃止について

- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その59）
- 季節性インフルエンザワクチンの供給に関する情報提供について
- デキサメタゾン製剤の安定供給について
- 患者からの医薬品副作用報告に関する広報の周知について
- 令和3年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内について
- 日本医師会を騙る不審メールの流通について（注意喚起）
- 新型コロナウイルスに感染した妊婦に対する体制の拡充について
- 新型コロナウイルスに感染した小児に対する体制の拡充について
- 日本小児科学会、日本医療研究開発機構（AMED）の実施するおたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査について
- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その60）
- 「医師の働き方改革に関する『トップマネジメント研修』開催のご案内」の送付について
- 精神科医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応について
- 東京都におけるCOVID-19検査『陽性』と判明した際の対応についてのご願い
- 新型コロナウイルスワクチンに異物の混入があった場合の対応等について
- 「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第5.3版」の周知について
- 令和3年度全国学校保健・安全研究大会の開催について
- 学校におけるインフルエンザの予防及び発生時の措置について（通知）
- 幼稚園、小学校及び中学校等における抗原簡易キットの活用の手引き等の周知について（依頼）
- 「小学校、中学校及び高等学校等における新学期に向けた新型コロナウイルス感染症

対策の徹底等について」の送付について

- 「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン」について
- インフルエンザに係るサーベイランスの実施（2021年-2022年シーズン）について
- 新型コロナウイルスワクチンの個別接種促進のための支援事業の請求
- 都立小児総合医療センターより（10/11～12/24PICU改修工事実施）
- 医療従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について
- 医療法人が国際展開に関する業務を行うに当たって遵守すべき事項の周知・徹底について
- 未成年者におけるビタミンDを含む加工食品の摂取状況の調査結果等について
- アルファカルシドール製剤が安定供給されるまでの代替薬による治療が困難である患者への優先的な使用等の対応への協力について（周知依頼）（その2）
- 令和3年9月までの新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な対応及び介護報酬における基本報酬への上乗せ評価の継続に関する協力依頼について
- 「令和3年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金」の交付申請書の提出期限の延長等について
- 東京都医師会主催 第23回「日本医師会 指導医のための教育ワークショップ」について
- 令和3年9月の連休期間における検査体制確保並びにPCR検査及び抗原検査（保険適用分）に係る検査件数報告について
- 令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金について（再周知）
- 「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第17次報告）」
- 令和3年度東京都発達障害者支援体制整備推進事業専門的人材育成医療従事者向け講習会の開催について

- 日本眼科医会作成の『3歳児健診における視覚検査マニュアル～屈折検査の導入に向けて』送付について
- ミカトリオ配合錠の保険適用に係る留意事項の一部改正について
- 香りへの配慮に関する啓発ポスターについて（通知）
- 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について
- 麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の公布について（通知）
- 令和3年度医療安全セミナーの周知について
- オンライン資格確認「集中導入期間」実施中に関するリーフレットの送付について
- 「希少言語に対応した遠隔通訳サービス事業」オンライン説明会の開催について
- 「令和3年度新型コロナウイルス感染症対応医療機関労災給付上乘せ補償保険加入支援事業」について
- コロナワクチンナビの最新情報の更新について（再周知）
- 特別なコミュニケーション支援が必要な障害児者に対する医療機関における対応について（1）
- 第32回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」（2021年11月27日～28日）の開催（オンライン開催）について
- 管内市町村国保主務担当者等との懇談会開催について
- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱い
- 青梅市立総合病院新病棟建設工事近隣説明会のお知らせ
- 青梅市立総合病院より「事前予約活用について（お願い）」
- クレーム対応費用保険制度のご案内（損保ジャパン）
- 第33回（令和3年度）健康スポーツ医学講習会
- 精神科病院及び療養病床を有する病院における集中的・定期的検査（抗原検査（定性））の継続実施（令和3年9月から12月まで）について
- 後発医薬品の出荷停止等を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いについて
- 学校における新型コロナウイルス感染症対策の状況について（情報提供）
- 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱い（その63）並びに感染防止対策の継続支援について
- 新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の体制確保について
- 最近のダニ媒介感染症の国内の発生状況について
- 季節性インフルエンザワクチンの供給について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 令和3年度における東京都無症状の妊婦への分娩前ウイルス検査費用助成事業及び新型コロナウイルスに感染した妊産婦に対する寄り添い型支援実施期間延長
- 「新型コロナウイルス感染症地域流行に伴う対応について（依頼）」に関する補足説明について
- 新型コロナウイルス感染症流行下における薬局での医療用抗原検査キットの取扱いについて
- 新規陽性者数等の指標に係るHER-SYSデータへの切替え等について
- 予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布について
- 住民接種完了に向けた未接種ワクチンの有効活用について
- デキサメタゾン製剤が安定供給されるまでの必要な患者への優先的な使用等の対応への協力について（1）
- 抗体カクテル療法促進事業の実施について
- 東京都福祉保健局ホームページ「新型コロナウイルス検査情報サイト」における「検査に関するよくあるお問合せページ」の開

設について

- 令和3年度第2回検案業務サポート研修会の開催について（多摩地域の登録検案医確保及び検案業務サポート事業）
- 令和3年度最低賃金額の改定に関する周知・広報の実施等について
- 新型コロナウイルス感染症による死亡事案の把握の徹底について
- 「オンライン資格確認」のレセプト振替・分割機能の導入について
- 東京都医師会「日医かかりつけ医機能研修制度 令和3年度応用研修会」【DVD視聴】の開催（オンライン開催）について
- 新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制の状況を評価するための医療機関等情報

支援システム（G-MIS）への入力について

- V-SYS操作マニュアル第4.5版について
- 令和3年度死体検案研修会（上級）の開催について
- 令和3年度児童虐待対応研修【専門講座第2回】の開催について
- 令和3年度東京都発達障害者支援体制整備推進事業専門的人材育成医療従事者向け講習会の開催について
- 都内自宅療養者等への医療支援状況（令和3年8月期）
- 酸素・医療提供ステーション（味の素スタジアム）への医師派遣依頼（12月31日まで延長）

## //// 医師会の動き ////

令和3年10月22日現在

|       |     |        |     |
|-------|-----|--------|-----|
| 医療機関数 | 193 | 病院     | 28  |
|       |     | 医院・診療所 | 165 |
| 会員数   | 522 | 正会員    | 207 |
|       |     | 準会員    | 315 |

### 会議

- 9月9日 在宅難病訪問診療（青梅）
- 14日 第2回西多摩地域脳卒中医療連携検討会
- 14日 定例理事会
- 28日 ICTシステム整備委員会兼にしたまICT医療ネットワーク協議会
- 28日 定例理事会
- 10月5日 在宅医療委員会
- 12日 定例理事会
- 13日 市町村国保主務担当者等との懇談会
- 14日 在宅難病調整委員会
- 22日 広報部会（会報編集）
- 26日 定例理事会

### 講演会・その他

- 9月7日 学術Web講演会 ～ Alzheimer's

disease Web Seminar ～

《特別講演》

演題：「早期アルツハイマー病の診断のポイント」

演者：複十字病院 認知症疾患医療センター センター長  
飯塚 友道 先生

《総合ディスカッション》

神経心理学的検査（HDS-R・MMSE）実施時のポイントや、画像検査（MRI・SPECT）、アミロイドβ測定に関する診療連携について

9日 保険整備会

9日 法律相談

9日 学術Web講演会

《講演》

演題：「経口GLP-1受容体作動薬の可能性」

演者：青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 部長

足立 淳一郎 先生

- 10日 学術Web講演会 骨粗鬆症地域連携講演会 オンラインセミナー

- 【一般講演】
- 演題1:「当院の骨粗鬆症リエゾンサービスについてpart1」  
 演者:骨粗鬆症看護外来 慶友健康寿命延伸センター  
 宇沢整形外科 看護部  
 多田 昌子 先生
- 演題2:「当院の骨粗鬆症リエゾンサービスについてpart2」  
 演者:骨折リエゾンサービス(KLS) 慶友健康寿命延伸センター 慶友整形外科病院 理学療法士  
 加藤 啓祐 先生
- 演題3:「骨粗鬆症治療と腎障害」  
 演者:公立福生病院 薬剤師  
 奥山 和哉 先生
- 【特別講演】
- 演題:「骨粗鬆症の薬物治療-骨形成促進剤の適応と効果を中心に-」  
 演者:慶友整形外科病院 骨関節疾患センター センター長  
 岩本 潤 先生
- 12日 東京都医師会・西多摩医師会産業医研修会
- (1) 高年齢労働者の健康管理  
 労働衛生コンサルタント事務所 オークス 所長 竹田 透 先生
- (2) テレワーク下での産業医の役割指針、情報通信機器を用いた産業医の職務の一部実施に関する留意事項等について  
 労働衛生コンサルタント事務所 オークス 所長 竹田 透 先生
- (3) 産業医として身につけるべきスマホ・ゲーム依存の基礎と対策  
 予防医療研究所代表、藤田医科大学客員教授 磯村 毅 先生
- (4) ストレスチェック後の高ストレス者面談指導  
 産業医科大学ストレス関連疾患予防センター特命講師  
 戸津崎貴文 先生
- (5) 職場の感染症対策-事例検討-  
 アッシュコンサルティングサービス合同会社 鈴木 英孝 先生
- 15日 西多摩三師会学術Web講演会  
 ～西多摩三師会地域医療講演会～
- 【一般公演】
- 演題:「歯周病と認知症 ～口腔ケアの重要性～」  
 演者:(医社) 山吹会 理事長  
 小曾木歯科 井上 一彦 先生
- 【特別講演】
- 演題:「認知症の正しい理解と予防」  
 演者:総合東京病院 認知症疾患研究センター センター長  
 羽生 春夫 先生
- 10月7日 保険整備会
- 7日 学術Web講演会 ～ Primary Care AF Seminar ～  
 ≪特別講演1≫  
 演題:「SGLT2阻害薬だけに頼らない、血糖と血管に効く最新のエビデンス」  
 演者:樋口クリニック 院長  
 樋口 正憲 先生
- ≪特別講演2≫  
 演題:「循環器内科医からみた糖尿病治療戦略について  
 ～欧米と日本のガイドラインの比較も含めて～」  
 演者:(医社) 悠救会 波多野医院 東京医科大学 地域医療指導教授  
 波多野 嗣久 先生
- 13日 学術Web講演会  
 ≪特別講演≫  
 演題:「P-CABの登場によって変わりゆく逆流性食道炎診療」  
 演者:武蔵野赤十字病院 消化器科 部長 中西 裕之 先生
- 14日 法律相談
- 21日 学術Web講演会  
 ≪講演≫

演題:「疾患連関から診た心不全と心房細動」

演者:新潟大学大学院医歯学総合研究科

循環器内科学 主任教授

猪又 孝元 先生

22日 学術Web講演会

《講演Ⅰ》

演題:「パーキンソン病患者のための生活指導」

演者:青梅市立総合病院 脳神経内科 医長 高岡 賢 先生

《講演Ⅱ》

演題:「かかりつけ医のためのパーキンソン病診療ガイド～レビー小体病もふまえて～」

演者:一般財団法人 多摩緑成会 緑成会病院 脳神経内科

副院長 太田 晃一 先生

26日 にしたまネット講演会

～にしたまICT医療ネットワークシステムについて～

27日 学術Web講演会

西多摩医師会こころのバリアフリー活動関連学術講演会

第9回認知症地域連携の会 -画像連携編-

【特別講演】

演題:「地域で取り組む新しい認知症予防」

演者:国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科

病院長 阿部 康二 先生

#### 役員出張

9月17日 地区医師会長連絡協議会

10月7日 西多摩地域保健医療協議会

13日 地区医師会社会保険担当理事連絡会

15日 地区医師会長連絡協議会

19日 第11回地区医師会感染症担当理事連絡会

28日 第1回西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議

#### 【新規開業】

氏名 安里 崇徳

施設名 日の出あきる野眼科

所在地 日の出町大字平井字三吉野場末405-5

#### 【入会会員】(正会員)

氏名 木島 啓

勤務先 (医社) 三清会

青梅かすみ台クリニック

出身校大学 東京医科大学 平成20年3月卒

氏名 安里 崇徳

勤務先 日の出あきる野眼科

出身校大学 藤田医科大学 平成15年3月卒

#### 【退会会員】(正会員)

氏名 太田 亘

勤務先 (医社) 三清会

青梅かすみ台クリニック

#### 【入会会員】(準会員)

氏名 本村 光明

勤務先 (医社) 久遠会 友田クリニック

出身校大学 福岡大学 昭和57年3月卒

氏名 山井 勇輝

勤務先 公立福生病院

出身校大学 慶應義塾大学 平成31年3月卒

氏名 加藤 泰裕

勤務先 公立福生病院

出身校大学 日本医科大学 平成23年3月卒

氏名 迎 光矢

勤務先 公立福生病院

出身校大学 東京医科大学 平成30年3月卒

氏名 小林 甫  
勤務先 公立阿伎留医療センター  
出身校大学 日本大学 平成28年3月卒

氏名 木内 仁志  
勤務先 公立阿伎留医療センター

【退会会員】(準会員)

氏名 清水 正雄  
勤務先 青梅厚生病院

【管理者変更】

(医社) 三清会 青梅かすみ台クリニック  
(新) 木島 啓  
(旧) 太田 亘

氏名 赤尾翔太郎  
勤務先 公立福生病院

氏名 青山 純一  
勤務先 公立福生病院

氏名 久貝 太麻衣  
勤務先 (医社) 来橋会  
ばば子どもクリニック

氏名 關 茂樹  
勤務先 (医社) 福聚会 神明台クリニック

訃報

羽村市 (医社) 松原内科医院  
理事長 松原 貞一 先生 奥様  
院長 松原 弘明 先生 御母堂様

松原 幸子 様 (86歳)

去る令和3年9月14日 逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

事務局より お知らせ

保険請求書類提出締切日

令和3年12月 (11月診療分) **12月9日 (木)** 正午迄  
令和4年 1月 (12月診療分) **1月6日 (木)** 正午迄  
(締切日以前の提出も可能です)

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を  
毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。  
お気軽にご相談ください。

◎相談日 **11月18日 (木)**  
**12月16日 (木)**  
**1月20日 (木)**

◎場所 西多摩医師会館

◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・  
刑事に関するどのようなものでも結構です。

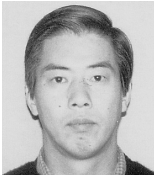
◎相談料 無料 (但し相談を超える場合は別途)

◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。

(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。



## 表紙のことば



### 『サボテンの花』

20年前にいただいたサボテンを、看護師さんたちが水やりを欠かさずしてくれたおかげで少しずつ大きくなり、2015年に一輪開花しました。サボテンは

成長が遅く、今年ようやく2回目の開花で4輪花を付けました。花芽が出たときはサブライズでした。3回目の開花に立ち会えたらうれしいです。

大河原森本医院 森本 晋

## あとがき

今年も10月5日を迎えました。この日はアップル創業者スティーブ・ジョブズの命日になります。2011年東日本大震災の年に亡くなりました。享年56歳、その若すぎる死に世界がそして私もショックを受けたことを覚えています。今年は無後10年になります。ジョブズ率いるアップルが開発したスマートフォン、iPhoneは2007年に米国で、2008年からは日本を含む22カ国で販売が開始され、現在に至ります。もはやスマートフォンを含むIT機器がないと成立しない世の中になってしまいました。ジョブズは世界を変えてしまいました。

外に出かけるときにスマートフォンは便利ですが、コロナの世界になって、会社もリモートワーク、会議もオンラインになってくると改めてパソコン(PC)が必要とされるようになってきました。そこにジョブズ亡き後、現CEOティム・クック率いるアップルが革命を起こしてきています。既に御存知の方も

いらっしやると思いますが、昨年アップルはPC用に「M1」という新型CPUを開発発表しました。その「M1」を搭載したMACの販売を昨年からは開始しています。コロナの世界になって、PCで動画を扱う機会が増えていくと思います。「M1」を使用するとPC上での様々な処理が早くなり、スムーズに動画を再生すること、動画編集の時間を短縮することなどが可能になっています。そしてつい先日(10月19日)「M1」の進化型である「M1 PRO」、「M1 MAX」という2つの新型CPUが発表されました。10月26日にはその新型CPUを搭載した新型MacBook Proが発売されるので、この会報がお手元に届く頃には実機に触れていると思います。アップルが新型PCを使ってどのような世界を見せてくれるのか、それを使用して私たちは何ができるようになるのか。まだまだIT機器による変革は進みそうです。

きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

一般社団法人 西多摩医師会

令和3年11月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖

下村 智 土田 大介 鹿兒島武志 進藤 幸雄 奥村 充  
近藤 之暢 菊池 孝 三ツ汐 洋 馬場 一徳 小高 哲郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

## 生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ  
地域に根ざした検査所として歩んできました。  
高度な技術と最新の設備で地域医療の  
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-6659

URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>

多摩地域で事業を営む皆さまに

提携事業所※従業員様向け

専用ローンがごございます

※たましん従業員サポート制度「Life&Work」にご契約されている事業所が対象です。

- マイカーや教育等、  
ライフイベントに関する  
資金使途に対応
- WEBによる事前審査も可能

RISURU  
©'21 SANRIO APPR.  
NO. L615511



多摩信用金庫

詳しくはお近くのたましんへ

<https://www.tamashin.jp>



福利厚生  
の  
充実に